

**留学先国名** : アメリカ

**留学先学校名** : ポートランド州立大学

**留学期間** : 平成 26 年 9 月 19 日 ~ 平成 27 年 11 月

2014 年 9 月 18 日、私の初めての留学先となるアメリカ合衆国オレゴン州ポートランドに到着しました。英語も話せず、右も左も分からないまま到着し、最初の二日間は Air Bnb で見つけた一般の方のお宅に泊まらせて頂きました。到着したばかりの頃は何もかもが新鮮で、これから始まる新生活への期待からとてもわくわくしていたのですが、一週間ほど経った頃からホームシックの波が襲ってきました。アメリカの大学生活が想像していたものと少し違っていただけ、語学力や文化の違いなどの壁で友達が全くできなかったことが原因でした。なかなか周りに馴染むことができず、一人で過ごすことが多かったです。

最初の一年間は寮での生活でした。ロサンゼルス出身のアメリカ人のルームメイトとステュディオタイプの部屋でルームシェア生活を始めたのですが、初めての共同生活ということ、文化の違いなどから最初の三か月はあまり楽しいものではありませんでした。一時期は部屋に帰るのが嫌すぎて図書館や寮のロビーで生活していました。

一年目の学業成績は正直、あまり芳しいものではありませんでした。授業の履修登録が遅かったせいで自分の取りたい授業が全然取れなかったこと、英語力、そして半年間のブランクを経てからの初めての大学レベルの授業ということで、秋学期・冬学期は特に授業についていくのに苦労しました。日本で全く準備しなかったこと、語学学校にすら行かなかったことを後悔しました。秋学期はいくつかの必須のクラスを取ったのですが、そのうちの 하나가特に難しく、日本語でも理解するのに時間がかかるような医療の倫理問題などについて学びました。

ただ、冬学期は秋学期と違い、自分の興味のある分野から授業を二つ取ることが出来たので、語学の壁はあったものの、勉強するのが楽しかったです。私は映画学を副専攻にしているので、Film Analysis という映画学の中で一番基本的なクラスを取ってみることにしました。カメラアングルや照明など、色々な視点から映画について学ぶのはとても新鮮で、更に映画について学びたいと思うようになりました。また、History of Japan and Korea という授業も取ったのですが、アメリカという視点から自分の国、そして韓国との間の関係・歴史について学ぶのはとても興味深い経験でした。ディスカッションが中心の授業形態だったのですが、アメリカ人のクラスメイトたちの意見や解釈を聞くことが出来たのも面白かったです。この授業を終え、アメリカというこの国で自分の生まれ育った地域についてもっと学びたいという気持ちも強くなり、結果的に国際関係学も副専攻に加え、アジアに焦点を置いて勉強することにしました。また、この学期からポートランド・コミュニティ・カレッジでも授業を受け始めました。私の大学には特別なプログラムがあり、大学に籍を置きながら提携している大学(主に近辺のコミュニティ・カレッジ)でも授業を受け、特に複雑な手続きもなく単位を変換することが出来ます。コミュニティ・カレッジの授業料はおおよそ半分くらいになるので、私の大学では多くの学生がこのプログラムに参加して授業料を抑えるようにしています。

三学期目となる春学期には、遂に自分の専攻であるコミュニケーション学から Intro to Intercultural Communication をいう授業を受けました。この授業では、人種や性別など、様々な文化・アイデンティティを持つ人たちとのコミュニケーションについて学ぶ授業で、とても勉強になりました。特にこの授業を取って良かったと思った点の一つが、クラスメートがみんな違う文化に対してとてもオープンで、留学生の私にもとても優しくしてくれたことです。アメリカのクラスではなかなか友達を作る機会がなく、授業が終わったらみんなすぐに荷物をまとめて出て行ってしまうことに最初とてもびっくりしたのですが、今回はクラスメートととても仲良くなる事が出来てとても嬉しかったです。

一年目を無事終えることが出来、幸い一単位も落とさずに済んだのですが、課題もたくさん残されていました。特に 2 年目から改善したいと思っていたのが英語力です。英語力の成長を初めて感じたのは最初の三か月が経ってからでした。まだまだ会話についていけるようなレベルではなかったものの、前より聞き取ることが出来、もっと喋りたいという意欲が増えました。初めて少し成長を感じる事が出来てとても嬉しかったです。それでもやはり、ネイティブスピーカーの会話には全然ついていくことが出来ず、何回も悔しい思いをしたので、2 年目からはもっと英語力を伸ばしていきたいと思いました。

一年目は、とにかく新しい環境と違う文化に慣れるのに精いっぱい毎日余裕がありませんでしたが、自分とても成長することが出来たと思います。特に精神面は強くなりました。ここまで精神的に成長することが出来たのは、やはり留学斡旋業者などを通さずに個人で全ての手続きを進め、何かあった時には自分でちゃんと対応し処理しないといけない状況にあったからだだと思います。